

科目名 マクロ経済学の基礎 対象 1年
開講学期 秋学期 担当教員：山澤 成康

(授業題目：マクロ経済学の基礎)

【授業の目的・目標】

マクロ経済学とは、国の単位で経済を考える学問です。たとえば、日本全体の生産量はどのくらいか、失業はどうして生まれるのか、インフレはなぜ起こるのか といったことを考えます。この講義の目標は、マクロ経済学の専門的な言葉の意味が理解できるようになることです。

【授業の内容】

マクロ経済学の基本的な考え方を、ハンドアウト（プリント）を中心に説明します。

【授業の運営方法】

すべての授業を受けるとマクロ経済学の全般的な知識が得られるようにします。

【評価方法】

秋学期：期末テストで評価します。授業中に数回アンケートをしますが、成績には考慮しません。

<テキスト>

講義開始時に指示します。

<参考書>

福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門 第2版』（有斐閣）
J．E．スティグリッツ『マクロ経済学 第2版』（東洋経済新報社）
N．グレゴリ - ・マンキュー『マクロ経済学 入門編』（東洋経済新報社）

【その他、受講生への注意事項】

難しい数式は使わずに授業をします。
ほかの学生の迷惑になるので私語は禁止します。質問は歓迎します。

【授業スケジュール(シラバス)】

各授業時別の内容・課題等

- 1 マクロ経済学とはどのような学問か
- 2 マクロ経済学の歴史
- 3 国の生産量はどのようにして決まるか(国内総生産)
- 4 物価の動きは生産量にどのような影響を与えるか(名目と実質)
- 5 経済が周期的に変動するのはなぜか(景気循環)
- 6 豊かになるとはどういうことだろうか(経済成長)
- 7 失業が起きるのはなぜか(労働)
- 8 どうやって消費の量は決まるのか?(消費)
- 9 企業はなぜ設備投資をするか?(投資)
- 10 一つの国の供給と需要はどのように決まるか?(需要と供給)
- 11 なぜ貨幣が必要なのか?(貨幣の役割)
- 12 海外との取引価格はどのように決まるか?(為替レート)
- 13 失業者が存在するマクロ経済とはどのような姿か(IS-LM分析)
- 14 財政・金融政策はどのような効果を持つか(財政・金融政策の理論)
- 15 予備日